

弓削商船高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	船舶安全工学	
科目基礎情報							
科目番号	5A21			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	商船学科			対象学年	5		
開設期	後期			週時間数	4		
教科書/教材	船舶安全学概論：船舶安全学研究会（成山堂）						
担当教員	多田 光男						
到達目標							
洋上における船舶という特殊な環境にあって、災害や疾病の防止は重大である。災害の原因の究明及び防止に必要な知識と技術の概要を理解し、あわせて消火講習、救命講習や船内労働の安全・衛生に関して必要な知識を学ぶ。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1 災害防止の基本的な知識について理解できる	十分に理解できる		だいたい理解できる		ほとんど理解できない		
評価項目2 船舶の消火に必要な基本的な知識・技術について理解できる	十分に理解できる		だいたい理解できる		ほとんど理解できない		
評価項目3 海上における生存に必要な知識・技術について理解できる	十分に理解できる		だいたい理解できる		ほとんど理解できない		
評価項目4 船員の労働安全・衛生に関する基本的な知識について理解できる	十分に理解できる		だいたい理解できる		ほとんど理解できない		
学科の到達目標項目との関係							
専門 A1 専門 E3							
教育方法等							
概要	教科書を参考にしつつ、メリハリをつけながら安全工学の概要、消火講習、救命講習、労働災害防止などのテーマをピックアップして重点的に講義していく。 この科目は、航海訓練所における操船・運航業務を担当していた教員が、その経験を活かし、航海学と機関学に関する技術について実験実習形式で授業を行う。						
授業の進め方・方法	必要に応じてプリントを配布し、レポートを適宜課していく。						
注意点	1 単位当たり30時間の自学自習を必要とする。 養成施設引当て科目（単位）：航海コース [船舶の構造(0.1),非常措置(0.5),医療(0.2)] 機関コース [環境汚染防止(0.1),損傷制御(0.1),船内作業の(0.3)] 免許講習引当て時間：救命・機関救命講習（講義3）、消火講習（講義4）						
実務経験のある教員による授業科目							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	講義概要のガイダンス		授業の概要、評価方法の理解ができる		
		2週	災害防止の原則		災害の原因・対策等の理解ができる		
		3週	船舶の構造と船舶の災害		船舶の構造と災害の理解ができる		
		4週	火災の性質・消火設備等(1)		火災の性質等の理解ができる		
		5週	火災の性質・消火設備等(2)		火災の性質等の理解ができる		
		6週	非常配置、操練、非常措置等(1)		非常配置や操練等の理解ができる		
		7週	非常配置、操練、非常措置等(2)		非常配置や操練等の理解ができる		
		8週	中間試験				
	4thQ	9週	環境汚染防止等		環境汚染防止等の理解ができる		
		10週	生存技術		生存技術の概要の理解ができる		
		11週	遭難時の対応等		遭難時の対応等の理解ができる		
		12週	救命設備、SAR条約の概要等		救命設備、SAR条約の概要等が理解できる		
		13週	応急医療		応急医療の理解ができる		
		14週	船員労働安全衛生規則の概要		船員労働安全衛生規則の概要の理解ができる		
		15週	船内作業の安全と船内衛生		船内労働と船内衛生の理解ができる		
		16週					
評価割合							
	試験	レポート	小テスト	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	0	10	0	10	20	100
知識の基本的な理解	60	0	10	0	0	0	70
主体的・継続的な学習意欲	0	0	0	0	10	20	30